子ども向け図書館情報誌

No.155
なつ号

としょかんくん

記念日

今年の６月８日、長岡市立図書館は開館100周年をむかえました。この日は、長岡市の図書館にとって大切な記念日です。

こんなふうに365日、毎日いろいろな記念日があります。他には一体どんな記念日があるでしょう？

『１年まるごときょうはなんの日？』（全５巻）
「１年まるごと　きょうはなんの日？」編集委員会／編　文研出版（204イ）

この「としょかんくん」の発行日、７月１日は「郵便番号記念日」です。この日に初めて郵便番号制度がどうにゅうされました。このシリーズでは、365日毎日の記念日がしょうかいされていて、日にちからその日がどんな記念日か知ることができます。みなさんが気になる日は、何記念日でしょう？この本で調べてみてくださいね。

『それ日本と逆!?文化のちがい習慣のちがい　ワイワイ記念日とお祭り』
須藤　健一／監修　学研プラス（382ソ）

日本に記念日や祝日があるように、世界の国々にも記念日や祝日があります。同じ記念日でも、日にちやお祝いの仕方が違います。例えば、子どもの日。日本では５月５日ですが、トルコでは４月23日です。この日、日本ではこいのぼりをあげてお祝いをします。しかしトルコでは世界中の子どもたちをまねき、平和をいのる式典を開いてお祝いします。こんなふうに、この本では国ごとに違う記念日や習慣を知ることができますよ。

『しまうまのたんじょうび』　　トビイ　ルツ／作・絵　PHP研究所（913ト）

もうすぐサバンナにくらすシマウマさんの誕生日。今年は町でケーキ屋さんをしているクマさんが、ケーキを気球で届けてくれることになっています。シマウマさんはとても楽しみ。その話を聞いたサバンナのお友だちがシマウマさんにひみつで誕生会をけいかくしましたが、話がまとまらなくてケンカに…。お友だちは、仲直りして、誕生会をひらくことができるのかな？みんながひとつ持っている記念日、誕生日のお話です。

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

ふるさと長岡の絵本作家

松岡達英さんの本

長岡にアトリエを持ち、たくさんの絵本を描いている松岡達英さん。子どものころから、こん虫や植物などの自然が大好きで、よく野山を歩いて観察したそうです。松岡さんの本には、長岡の自然や、生きものたちがたくさん出てきます。今年の７月20日(金)から８月５日(日)には、中央図書館で『長岡の自然が育んだ松岡達英展』がかいさいされます。絵本の原画なども展示されるので、おうちの人とぜひ見にきてね。

『**あまがえる先生１ねんずかん**』　まつおか　たつひで／作　ポプラ社（絵本マ）

豊かな自然が広がるあまがえるの里。そこに住むのは、野山のことなら何でも知っている、かえるのあまがえる先生です。４月になり、冬眠からめざめたあまがえる先生は、さっそく外に出て観察を始めます。春夏秋冬の生きものを、楽しい絵でくわしくしょうかいしてくれる図鑑絵本です。

『**かぶとむしはどこ?**』　松岡　達英／さく　福音館書店（絵本マ）

まだ寒い冬の季節、カブトムシの子どもは、あたたかくえいようがいっぱいの「ふようど」の中ですごします。夏のはじめになると、ふようどの下の土にもぐりこみ、自分でさなぎになるためのへやを作ります。一か月くらいたつと、さなぎからぬけだして、やっとかぶとむしらしいすがたになるのです。えさばでクワガタムシとたたかうようすなど、大はくりょくの一さつです。

『**くだもの王国**』　さとうち　藍／文　松岡　達英／絵　岩崎書店（625サ）

日本は、季節ごとにいろんなくだものがとれる、世界でもめずらしいくだもの王国です。この本は、くだものやさんに話を聞いたりするほかに、くだものに集まるこん虫と動物や、たねなしぶどうのひみつ、いちじくのシロップ煮の作り方をしょうかいしたりと、もりだくさんな内容です。この本を読むと、みんなもくだものはかせになれるかも!?

『**チョキチョキおじさん　きょうりゅう王国**』　まつおか　たつひで／作　岩崎書店（絵本マ）

チョキチョキおじさんが、はさみで紙をどんどん切っていくと、きょうりゅうの子どもができあがりました。きょうりゅうの子どもは、さっそくおかあさんをさがしにでかけます。でもチョキチョキおじさんが続けてこわいきょうりゅうも作るので、さあたいへん！ぶじ、おかあさんに会えるのでしょうか。一枚の紙からお話が次々とできるようすは、おどろきの連続！思わずいっしょにお話を作りたくなりますよ。

『**ぼくのロボット大旅行**』　松岡　達英／さく　福音館書店（548マ）

机の上でロボットをかいていたら、いつのまにか空飛ぶ大きなロボットに乗って、世界一周の旅に出発！なかよしのミヨちゃんもいっしょに乗せて、まずは海をわたって北極へ。くまに追いかけられたあとは、アラスカにひとっとびして大草原でひと休み。アマゾンでは珍しいこん虫をつかまえて、オーストラリアでは動物たちとなかよしに。うしろのページには、本に出てきたすべての生き物の名前がのっています。

『**虫こぶはひみつのかくれが？**』　湯川　淳一／文　松岡　達英／絵　福音館書店（486ユ）

虫こぶって知っていますか？植物の葉やくきにできた、ふしぎな形のこぶのことです。虫が草の実を食べたり、葉のしるをすったりすると、その草が化学はんのうをおこして、こぶのようになるのです。わってみると、中には幼虫などが入っていることもあり、虫のゆりかごのようです。でも、これがかえって目じるしになり、きけんなこともあるようです。みんなも、虫こぶを見つけたら観察してみよう。

★☆★ としょかんくんクイズ ★☆★

Q１．しぶ柿をあまくするときにつかうものは、どれでしょう？

①酢　②酒　③しょうゆ　（『くだもの王国』さとうち　藍／文　松岡　達英／絵　岩崎書店より）

Q２．日本で一番大きいクワガタムシのしゅるいは、どれでしょう？

①ミヤマクワガタ　②ヒラタクワガタ　③オオクワガタ

（『あまがえる先生１ねんずかん』まつおか　たつひで／作　ポプラ社　より）

★答えは最後のページにあるよ！

他にもこんな本があります

- 『**父さんの小さかったとき**』塩野　米松／文　松岡　達英／絵　福音館書店（384シ）
- 『**イモリくんヤモリくん**』松岡　たつひで／さく・え　岩崎書店（絵本マ）
- 『**あまがえる先生　みつけてたべよう！野いちご教室**』まつおか　たつひで／作　ポプラ社（絵本マ）
- 『**いのちのひろがり**』中村　桂子／文　松岡　達英／絵　福音館書店（460ナ）
- 『**ゆきやまたんけん**』松岡　たつひで／さく　福音館書店（絵本マ）
- 『**くるくるくるみ**』松岡　達英／さく・え　そうえん社（絵本マ）

ながおかむかしむかし

ながおかのたから① 火焔土器

画：おんだちかこ

みなさんにはたからものがありますか？長岡には昔から大切にされてきたたからものがたくさんあります。

今回しょうかいする火焔土器もそのひとつです。昭和11年（1936年）に関原町の馬高遺跡で見つかり、もえさかる火のような形から名前がつけられました。今から約5,000年前（縄文時代中ごろ）に作られたもので、そのころ同じような形の土器が信濃川のまわりでたくさん作られていました。しかし「火焔土器」とよぶのはさいしょに見つかったひとつだけで、ほかのものは「火焔“型”土器」とよばれています。

これほどみごとな形に作られた土器はめずらしく、世界中の人が注目する、じまんのたからものです。関原町の長岡市馬高縄文館で見ることができます。きょうみのある人はぜひ行ってみてください。

みんなの声

としょかんくん154号読者アンケートの中から、みなさんの声をしょうかいします。

『としょかんくん』154号の感想をひとこと！

★イラストコーナーの絵がじょうずで「すごい」と思いました。（豊田小３年　S.ユミユミさん）

★こんなにおもしろい本があったんだなあと思いました。（大島小３年　たこくんさん）

あなたのすきな本、おもしろかった本を教えてね！

★『よくわかる！記号の図鑑』（全５巻）　木村　浩／監修　あかね書房（801ヨ）
いろいろなこっきがあってたのしい本でした。（表町小３年　チキン１ごうさん）

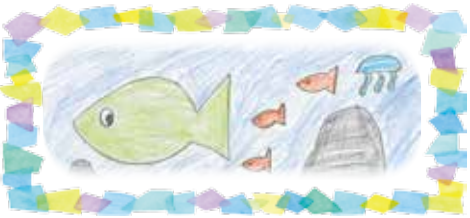
★『王さまめいたんてい』寺村　輝夫／作　和歌山　静子／絵　理論社（913テ）
王さまがめいたんていになってじけんをおこすところがおもしろかったです。
（信条小３年　ゆうゆさん）

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

☆イラストコーナー☆

すてきなイラストをどうもありがとう！

柿小２年　アリスさん



黒条小３年　R.Kさん

川崎東小３年　リンちゃんさん

としょかんくんクイズの答え　Q１：②　Q２：③

平成30年７月１日　発行　編集・発行：長岡市立中央図書館　印刷：北越印刷㈱
住所：長岡市学校町１丁目２番２号　電話：0258（32）0658
ホームページ：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp　メールアドレス：lib@city.nagaoka.niigata.jp